

学力向上フロンティアスクール中間報告書

都道府県名	千葉県
-------	-----

I. 学校の概要 (平成15年4月現在)

小見川町立西小学校 (フロンティアスクール名)									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	1	1	2	2	12	16
児童数	44	56	45	35	38	44	5	267	

II. 研究の概要

1. 研究主題

確かな学力の向上をめざす学習指導のあり方
 - 「書く力」をつける国語科学習を通して -

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・国語科 (・国語科教育は学力向上の根幹 <書く力は国語能力の根幹>
 ・書くことへの抵抗感→「書くこと離れ」
 ・13年度学力検査の結果→表現力をみる問題の正答率が低い
 ・これまでの研究をさらに深化させ、その成果を児童一人一人の確かな学力の向上に生かすため。)

(2) 年次ごとの計画

平成十四年度

○ テーマ
 確かな学力を向上させるための学習指導のあり方
 - 「書く力」をつける国語科学習を通して -

○ 仮説

① 「書く」ことの目的や相手を意識できるような教材を開発し、単元構成を工夫していけば、児童が意欲をもって「書く」学習にとりくむだろう。

② 学習内容や児童の実態に応じた少人数指導を取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を実践すれば、書くことの基礎・基本を身につけ、自ら考え、判断し、文章表現する力がつくだろう。

③ 朝の活動の時間を活用して「言語活動の場」を設定し、素材の研究や継続指導の工夫をしていけば、「書く」意欲が高まったり、言語能力が育ったりするだろう。

○ 研究内容・方法

① 「書く力」を育てる学習に関する理論研究
 ② 相手や目的を意識した教材の開発と単元構成の工夫
 ③ 「書く力」をつける学習過程の確立
 ④ 少人数指導の取り組み
 ⑤ 「書く力」をつけるための朝の活動の活用

平成十五年度

○ テーマ
 確かな学力の向上をめざす学習指導のあり方
 - 「書く力」をつける国語科学習を通して -

○ 仮説

① 「書く」ことの目的や相手を意識できるような単元構成の工夫をしていけば、児童が意欲をもって「書く」学習に取り組むだろう。

平成十五年度

- ② 学習の内容や児童の実態に応じた少人数指導を取り入れ、きめ細かな指導を実践すれば、児童が書くことの基礎・基本を身につけ、自分の言葉でわかりやすく文章表現する力がつくだろう。
- ③ 朝の活動の時間に言語活動を工夫して取り入れていけば、児童の「書く」意欲が高まったり、言語能力が育ったりするだろう。

○ 研究内容・方法

- ① ねらいの明確化，重点化
 - ・指導事項，系統表の作成と活用
- ② 相手や目的を意識するための教材の選定や単元構成の工夫
- ③ 学び合う活動の工夫
 - ・友達の考えを聞き，互いに高め合う場の設定
- ④ 「書く」ことの基礎・基本を身につけるための少人数指導の工夫
 - いろいろな学習過程（取材，構成，記述，推敲）での少人数指導の効果的な取り組み
 - 言語事項や文章の書き方の学習での少人数指導
- ⑤ 朝の活動等での言語活動の工夫
 - ・「全校読書」（月曜日）
 - ・「書くこと1・2・3」（火曜日）…言語事項や文章の書き方の基礎・基本を理解し，定着が図れるように練習する。
 - ・「わくわく1・2・3」（木曜日）…学級独自で楽しく書く工夫をしながら言語能力や表現力を増う活動をする。

} の実施

平成十六年度

○ テーマ

確かな学力の向上をめざす学習指導のあり方
－ 「書く力」をつける国語科学習を通して －

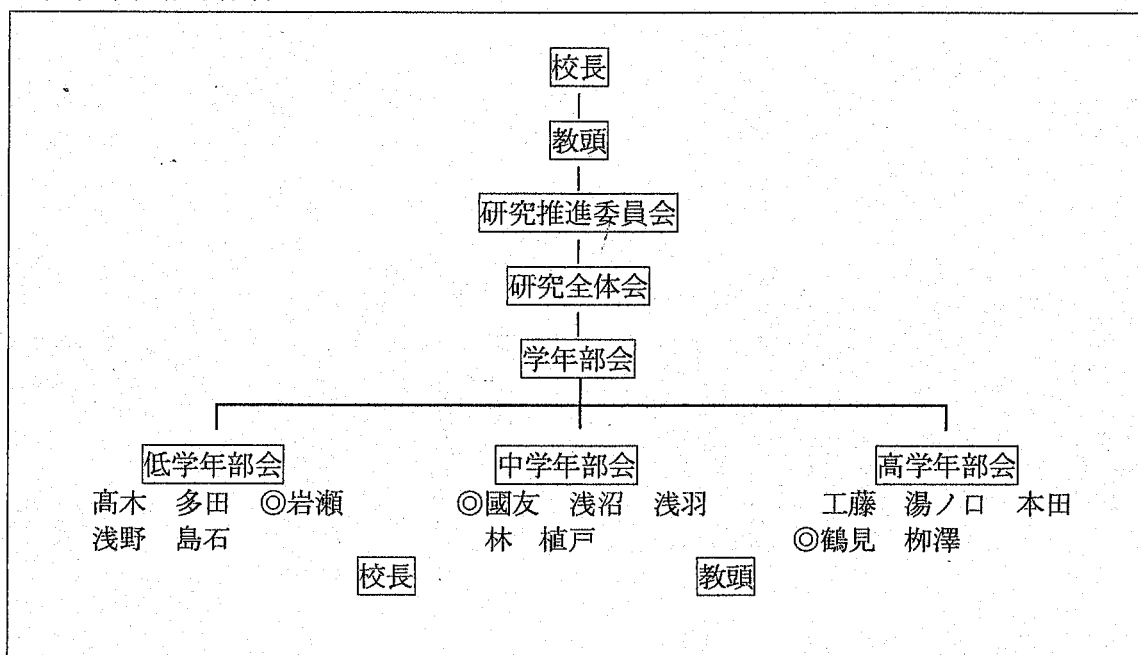
○ 仮説

- ① 「書く」ことの目的や相手を意識できるような単元構成の工夫をしていけば，児童が意欲をもって「書く」学習に取り組むだろう。
- ② 学習の内容や児童の実態に応じた少人数指導を取り入れ，指導目標に対する児童一人一人の学習状況を評価し，それに応じた支援を計画・実践すれば，児童が書くことの基礎・基本を身につけ，自分の言葉でわかりやすく文章表現する力がつくだろう。
- ③ 朝の活動の時間に言語活動を工夫して取り入れていけば，児童の「書く」意欲が高まったり，言語能力が育ったりするだろう。

○ 研究内容・方法

- ① 相手や目的を意識するための教材の選定や単元構成の工夫
- ② 「書く」ことの基礎・基本を身につけるための少人数指導の工夫
 - ・いろいろな学習過程（取材，構成，記述，推敲）での少人数指導の効果的な取り組み
 - ・言語事項や文章の書き方の学習での少人数指導
- ③ 個に応じた支援計画の作成
 - ・指導目標に対する児童一人一人の評価内容・方法の明確化
 - ・評価に応じた支援計画の作成と実践
- ④ 朝の活動等での言語活動の工夫
 - ・「書くこと1・2・3」，「わくわく1・2・3」の資料集づくり

(3) 研究推進体制



Ⅲ. 平成15年度の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

教材・単元構成の工夫

- ・目的や相手を意識させることで、児童が自分にあつためあてを明確にもつことができ、意欲的に書くことができた。
- ・書き方学習を取り入れ、読みの教材と関連させた学習や例文を活用する学習を行うことにより、児童が書き方の理解をすることができた。

少人数指導

- ・単元や学年に応じて、生活グループ、興味・関心別グループ、課題別グループ、習熟度別グループに分かれて少人数指導を行うことにより、どの児童にも目が行き届き、児童の学習状況を把握することができた。またそれに応じた適切な支援（対話、復習、補充）を行うことができた。
- ・一斉TTでの集団としてのよさを生かしながらの書き方学習と、少人数での個に応じた指導を組み合わせる行うことが効果的なことがわかった。
- ・児童は、発想を高め、書き方を理解し、自分なりの思いや考えを自分の言葉でわかりやすく書くことができるようになった。県標準学力検査の昨年の結果は、その前の年に比べて、どの学年も「書くことの領域の点数」と「国語の平均点」が上がっている。（今年の結果はまだ未集計）

朝の活動

- ・「書くこと1・2・3」（言語活動や文章の書き方の練習）は、基礎・基本の定着を図ることができた。「わくわく1・2・3」（学級独自で楽しく書く活動）では、楽しく書く機会を増やし、書くことへの抵抗感の減少に役立つことができた。

2. 今後の課題

- ・少人数指導において、指導目標に対する児童一人一人の学習状況を評価する。
- ・評価に応じた一人一人の支援を計画し、実践する。

IV. 学力把握のための学校の取り組みについて

- 意識調査・実態調査（年3回）
- 千葉県標準学力検査（年1回）
- 文字テスト・計算テスト（年各4回）

V. フロンティアスクールとしての成果の普及について

平成14年度

- ◎ 公開授業
日時 平成14年11月15日実施
場所 千葉県香取郡小見川町立西小学校
テーマ 確かな学力を向上させるための学習指導のあり方
対象 香取教育研究協議会 国語研究部員

- ◎ ホームページ作成

開設 平成15年2月下旬
HPアドレス http://www.portland.ne.jp/~omi_nisi/

平成15年度

- ◎ 町指定公開研究会

日時 平成15年11月6日
場所 千葉県香取郡小見川町立西小学校
テーマ 確かな学力の向上をめざす学習指導のあり方
対象 町内小中学校
香取教育研究協議会 国語研究部員
千葉県女性校長教頭指導主事等の会香取支部
佐原市教頭会

- ◎ 公開研究会参加校へのFDの配布

FDの内容…国語科 系統・指導事項一覧表 1～6学年

- ◎ ホームページの更新

更新内容…今年度の実践事例の紹介
更新予定…平成16年3月上旬

※ 普及活動の成果（参加者の感想）

- ・学力フロンティアは、どちらかというと言算数に目が向きがちだが、改めて国語の「学力向上」の大切さを感じた。「書く力」を切り口として国語の力を伸ばす実践ということで、再度見直してみたいと思う。
- ・西小で考え出された習熟度別・課題別・興味関心別など多様な形態を使うことにより、一層効果があがることがわかった。国語でも、少人数指導を取り入れた授業が可能であることがわかり、是非、そのような体制作りをしてみたいと思った。
- ・習熟の程度に応じた学習、少人数学習など様々な学習形態を工夫し、確かな学力を身につける、また子ども一人一人の興味関心に応じた指導法を工夫するなど、これからの指導のあり方等、たいへん参考になった。
- ・「書くこと」は児童が苦手意識を強くもつものの一つであるが、どのように書いていけば良いのかという手順が、児童に合わせ分かりやすく提示され、きめ細かな支援も行われて

おり、また学年に応じた支援や資料はとても参考になった。

- ・国語の時間だけでなく、朝の活動等（「書くこと123」「わくわく123」）でも、具体的に楽しい活動が継続して行われていることが、着実に書く力につながっているのだと思った。ショートタイムで学習できるワークシートなどの参考資料がほしいと思った。

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T、Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無